

県政報告 守屋てるひこ県議 小田原 県西部テーマに一般質問

③

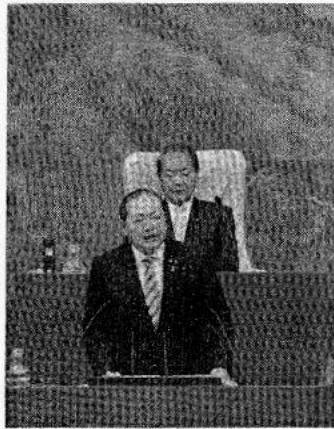
小田原市区選出の守屋てるひこ（輝彦）県議が昨年12月の県議会定例会で一般質問に立ち、県西部に密着したテーマで黒岩祐治知事ら県幹部に答弁を求めた。本紙では「紙上県政報告」として、詳しい内容を連載する。（全5回予定、随時掲載）

里地里山の保全

小田原 3地域

情報発信など積極支援

（質問） 齢化などにより、里地里山地域の生活様式、山の機能が失われつつの変化や農家の減少、高

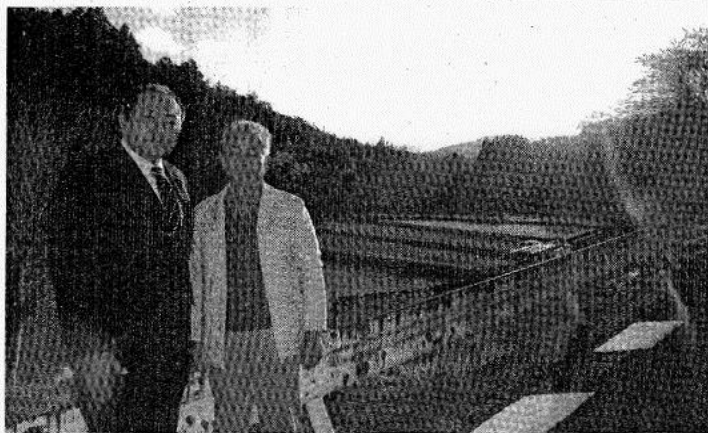


県議会で一般質問する守屋てるひこ議員

連携などの活動報告を行ったところ。また、他の地域でも創意工夫を重ね、自治会などの連携も図りつつ、地域の特徴を活かした取り組みがなされています。

県では、平成20年に「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」を施行し、保全等の活動を支援しています。現在、条例に基づき15地域が指定を受け、私の地元小田原市においても3地域が指定され、地域の個性を発揮した保全活動をしているところです。

11月には、知事との対話の広場が開催され、小田原市東栢山の団体が稲作体験、民間企業との



小田原市久野の里地里山で、保全活動の中心人物の星野清治さんと

は、田んぼや小川などの豊かな田園風景を生かして、箱根のホテルの宿泊客を対象とした稲刈り体験や、鉄道会社と連携した菜の花まつりなど、企業と連携した取り組みを進めています。

去る11月18日には、県内で活動している方々が一堂に集まる「里地里山サミット」を小田原市で開催をいたしました。そこでは、活動への参加者を増やすための工夫、企業との連携方法など、地域の特徴を活かした取り組みについて、活発な意見が交わ

環境農政局長答弁） 環境農政局関係の一般質問にお答えします。里地里山の保全について、お尋ねがございました。里地里山の魅力は、地域によって異なります。箱根山ろくろの広大な自然のもとで、登山道や深流に沿って広葉樹を植えたそば作りや川遊びなど、地域の特徴を生かした取り組みについて、活発な意見が交わ

私からの答弁は以上でございます。

（※続きは14日付以降に掲載）